



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月6日

上場会社名 株式会社JMS

上場取引所 東

コード番号 7702 URL <http://www.jms.cc/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 奥窪 宏章

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長

(氏名) 遠藤 正樹

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

TEL 082-243-5844

2020年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	27,900	△2.8	1,046	28.0	1,127	17.9	1,060	66.3
2020年3月期第2四半期	28,718	1.0	817	66.6	956	61.1	637	49.5

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,143百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 41百万円 (△88.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	43.46	—
2020年3月期第2四半期	26.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	67,504		33,423			49.3
2020年3月期	66,567		32,470			48.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 33,287百万円 2020年3月期 32,336百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	8.00	—	9.00	17.00
2021年3月期	—	8.50	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,500	1.6	2,000	△13.6	2,200	△17.7	1,600	△19.1	65.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	24,733,466 株	2020年3月期	24,733,466 株
2021年3月期2Q	312,723 株	2020年3月期	348,867 株
2021年3月期2Q	24,395,650 株	2020年3月期2Q	24,379,351 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「かけがえない生命のために」の創業精神の下、「医療を必要とする人と支える人の架け橋となり、健康でより豊かな生活に貢献することですべての人々を笑顔にする」ことを目指して、経営の品質と企業価値の向上に努めております。事業活動としましては、ホスピタルプロダクツ ビジネスユニットでは輸液・栄養領域を、サージカル&セラピー ビジネスユニットでは透析領域及び外科治療領域を、ブラッドマネジメント&セルセラピー ビジネスユニットでは血液・細胞領域を中心にそれぞれ事業を展開し、製品の開発、生産、販売を進めております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期に比べ8億18百万円減少の279億円（前年同四半期比2.8%減）となりました。利益につきましては、減収影響や開発費の増加はあるものの、販売費の減少により営業利益は10億46百万円（前年同四半期比28.0%増）となりました。また、持分法による投資利益や為替差損の計上などにより、経常利益は11億27百万円（前年同四半期比17.9%増）となり、特別利益での補助金収入や法人税等を加減した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億60百万円（前年同四半期比66.3%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(日本)

薬剤調製・投与クローズドシステム「ネオシールド」の販売が増加したものの、輸液セットの販売が減少したため、売上高は194億57百万円（前年同四半期比4.7%減）となりました。また、セグメント利益については、販売費が減少したものの、減収影響や開発費の増加により5億44百万円（前年同四半期比18.1%減）となりました。

(シンガポール)

東アジア向けの血液バッグの販売が増加したため、売上高は102億14百万円（前年同四半期比4.0%増）となりました。また、セグメント利益については、増収に伴い伸長したものの、為替差損の計上により5億25百万円（前年同四半期比14.2%減）となりました。

(中国)

日本向けの輸液輸血関連用品の販売が増加したため、売上高は13億42百万円（前年同四半期比2.3%増）となりました。また、セグメント利益については、増収効果や原価率の改善により、前年同四半期に比べ1億29百万円改善の1億27百万円の黒字となりました。

(フィリピン)

北米向けの成分献血用回路の販売が増加したため、売上高は13億49百万円（前年同四半期比2.0%増）となりました。また、セグメント利益については、増収効果により、前年同四半期に比べ21百万円改善の2百万円の黒字となりました。

(ドイツ)

A V F 針（血液透析用針）の販売が増加したものの、円貨換算額の減少により売上高は15億30百万円（前年同四半期比2.0%減）となりました。また、セグメント利益については、販売費の減少により1億19百万円（前年同四半期比10.3%増）となりました。

(その他)

売上高は19億78百万円（前年同四半期比20.7%減）、セグメント利益は55百万円（前年同四半期比3.0%減）となりました。

なお、上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ9億36百万円増加の675億4百万円となりました。資産、負債及び純資産の内容は次のとおりであります。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ10億5百万円増加の380億93百万円となりました。この主な要因は、商品及び製品が増加したためであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ68百万円減少の294億10百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ13億61百万円減少の205億33百万円となりました。この主な要因は、短期借入金が減少したためであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ13億45百万円増加の135億46百万円となりました。この主な要因は、長期借入金が増加したためであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ9億52百万円増加の334億23百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したためであります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.7ポイント上昇の49.3%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前年同四半期末に比べ22億7百万円増加の68億9百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、前年同四半期に比べ20百万円増加の16億78百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、前年同四半期に比べ1億61百万円減少の14億6百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得にかかる支出の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は、前年同四半期に比べ30億43百万円増加の5億16百万円となりました。この主な要因は、借入金の収支差額によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

経営環境には依然として不透明さが残るため、現時点におきましては、2021年3月期通期の連結業績予想について、2020年5月22日公表時から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,765	6,588
受取手形及び売掛金	15,683	14,892
有価証券	254	260
商品及び製品	7,735	8,751
仕掛品	2,787	2,771
原材料及び貯蔵品	3,928	4,045
その他	962	813
貸倒引当金	△29	△29
流動資産合計	37,088	38,093
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,358	8,225
機械装置及び運搬具（純額）	7,807	7,566
その他（純額）	7,805	7,807
有形固定資産合計	23,970	23,599
無形固定資産	538	551
投資その他の資産		
投資その他の資産	4,980	5,270
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	4,969	5,259
固定資産合計	29,479	29,410
資産合計	66,567	67,504

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,446	7,746
短期借入金	4,189	3,050
1年内返済予定の長期借入金	3,402	3,970
未払法人税等	571	430
賞与引当金	1,060	1,082
その他	4,224	4,253
流動負債合計	21,895	20,533
固定負債		
長期借入金	9,986	11,374
役員退職慰労引当金	116	114
退職給付に係る負債	731	787
資産除去債務	134	137
その他	1,232	1,131
固定負債合計	12,201	13,546
負債合計	34,096	34,080
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,411	7,411
資本剰余金	10,362	10,362
利益剰余金	15,932	16,772
自己株式	△270	△242
株主資本合計	33,435	34,304
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	203	280
為替換算調整勘定	△1,302	△1,297
その他の包括利益累計額合計	△1,098	△1,016
非支配株主持分	133	136
純資産合計	32,470	33,423
負債純資産合計	66,567	67,504

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	28,718	27,900
売上原価	21,143	20,414
売上総利益	7,575	7,485
販売費及び一般管理費	6,757	6,439
営業利益	817	1,046
営業外収益		
受取利息	9	5
受取配当金	23	24
持分法による投資利益	142	215
補助金収入	71	3
その他	61	55
営業外収益合計	307	305
営業外費用		
支払利息	99	90
為替差損	54	107
その他	14	25
営業外費用合計	168	224
経常利益	956	1,127
特別利益		
固定資産売却益	2	2
投資有価証券売却益	—	1
補助金収入	—	235
特別利益合計	2	238
特別損失		
固定資産売却損	—	1
固定資産廃棄損	6	6
特別損失合計	6	7
税金等調整前四半期純利益	952	1,359
法人税、住民税及び事業税	250	237
法人税等調整額	63	60
法人税等合計	314	298
四半期純利益	638	1,061
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	637	1,060

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	638	1,061
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40	76
為替換算調整勘定	△637	5
その他の包括利益合計	△596	82
四半期包括利益	41	1,143
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	51	1,139
非支配株主に係る四半期包括利益	△9	3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	952	1,359
減価償却費	1,538	1,611
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	0
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	—	△0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	32	30
受取利息及び受取配当金	△33	△30
支払利息	99	90
為替差損益 (△は益)	△5	32
持分法による投資損益 (△は益)	△142	△215
固定資産売却損益 (△は益)	△2	△1
固定資産廃棄損	6	6
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△1
補助金収入	—	△235
売上債権の増減額 (△は増加)	255	796
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△405	△1,108
仕入債務の増減額 (△は減少)	△45	△711
未払消費税等の増減額 (△は減少)	39	2
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△62	119
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△478	73
その他	△10	20
小計	1,740	1,840
利息及び配当金の受取額	33	30
利息の支払額	△105	△89
補助金の受取額	135	253
和解金の受取額	60	—
法人税等の支払額	△205	△356
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,657	1,678

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△27	△26
定期預金の払戻による収入	1	—
有形固定資産の取得による支出	△1,453	△1,233
有形固定資産の売却による収入	22	4
無形固定資産の取得による支出	△74	△70
投資有価証券の取得による支出	—	△45
投資有価証券の売却による収入	—	1
その他	△36	△37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,567	△1,406
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	8,292	9,450
短期借入金の返済による支出	△8,410	△10,586
長期借入れによる収入	—	3,650
長期借入金の返済による支出	△2,105	△1,653
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△195	△219
非支配株主への配当金の支払額	—	△1
リース債務の返済による支出	△108	△123
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,527	516
現金及び現金同等物に係る換算差額	△176	13
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,614	801
現金及び現金同等物の期首残高	7,216	6,008
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,602	6,809

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)2	合計
	日本	シンガ ポール (注)1	中国	フィリ ピン	ドイツ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	18,923	5,079	658	1	1,560	26,222	2,495	28,718
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,502	4,745	654	1,320	0	8,223	—	8,223
計	20,425	9,825	1,312	1,322	1,561	34,446	2,495	36,941
セグメント利益又は損失(△)	664	612	△1	△18	108	1,365	56	1,422

(注) 1 「シンガポール」の区分は、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでおります。

2 「その他」の区分は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイの現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,365
「その他」の区分の利益又は損失(△)	56
セグメント間取引消去	△579
持分法投資利益又は損失(△)	142
その他の調整額	△29
四半期連結損益計算書の経常利益	956

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 2	合計
	日本	シンガ ポール (注) 1	中国	フィリ ピン	ドイツ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	18,066	5,674	650	11	1,519	25,921	1,978	27,900
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,390	4,540	691	1,337	11	7,971	—	7,971
計	19,457	10,214	1,342	1,349	1,530	33,893	1,978	35,872
セグメント利益又は損失 (△)	544	525	127	2	119	1,320	55	1,375

(注) 1 「シンガポール」の区分は、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでおります。

2 「その他」の区分は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイの現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,320
「その他」の区分の利益又は損失 (△)	55
セグメント間取引消去	△476
持分法投資利益又は損失 (△)	214
その他の調整額	14
四半期連結損益計算書の経常利益	1,127